

令和5年度  
事業報告書

学校法人 三室戸学園

## 目 次

I	法人の概要	1
II	事業の概要	3
III	項目別取組状況	4
1	教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置	4
	(1) 大学及び短期大学等の教育に関する目標を達成するための措置	
	(2) 附属学校等に関する目標を達成するための措置	
	(3) 研究に関する目標を達成するための措置	
	(4) 社会連携及び社会貢献に関する目標を達成するための措置	
2	業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための措置	6
	(1) 組織運営の改善に関する目標を達成するための措置	
	(2) 財務内容の改善に関する目標を達成するための措置	
	(3) 施設設備整備、安全管理及び法令順守等に関する目標を達成するための措置	
	(4) 自己点検・自己評価及び情報公開等に関する目標を達成するための措置	
IV	令和5年度コンクール等の受賞者	10
V	令和5年度主な演奏会等実施一覧	12
VI	フォトギャラリー	13
VII	財務の概要	19
1	決算の概要	
	(1) 令和5年度の状況	
	(2) 令和元年度以降の状況	
	(3) 資金収支計算書関係	
	(4) 事業活動収支計算書関係	
	(5) 貸借対照表関係	
2	有価証券、借入金等の状況	22
3	財産目録	23
4	主な財務関連用語の説明	24

# 令和5年度 事業報告書

[学校法人 三室戸学園]

## I 法人の概要

### 1 基本情報

- (1) 法人の名称：学校法人三室戸学園
- (2) 主たる事務所の住所：東京都文京区大塚4-46-9

### 2 建学の精神

音楽芸術研鑽の一貫教育を通じ、情操豊かな人格形成を目途とする。

### 3 学校法人の沿革

学校法人三室戸学園は、学祖三室戸敬光が昭和9(1934)年11月、東京高等音楽学院学院長在職中に私財を投じて、「東京高等音楽学院大塚分教場」を開設し、昭和13(1938)年2月に三室戸為光がこれを継承し、東京都文京区に分離独立の上、「東邦音楽学校」と改称し、昼夜二部制の音楽理論と実技の授業を行う全国最初の学校としてスタートした時に始まる。

昭和22(1947)年に東邦中学校(男女共学)を開学、翌年には東邦高等学校を開学し、普通科に加え、全国初となる音楽科を開設した。

昭和26(1951)年に東邦音楽短期大学(音楽科)を開学、昭和38(1963)年に埼玉県川越市今泉に川越キャンパスを整備し、東邦第二高等学校(普通科・女子)を開学した。なお、同高等学校は、昭和44(1969)年に普通科を音楽科に改め、平成15(2003)年に男女共学制に移行している。

昭和40(1965)年に川越キャンパスに東邦音楽大学(音楽学部音楽学科)を開学し、平成13(2001)年には東邦中学校、東邦高等学校、東邦第二高等学校を大学の附属学校とした。さらに、平成16(2004)年に東邦音楽大学大学院(音楽研究科修士課程)を開設した。

令和5年度には、東邦音楽短期大学の入学者の現状に鑑み、総合的な判断から入学定員の変更(50名→20名)を行った。

### 4 設置する学校、学部、学科

- 東邦音楽大学大学院 [音楽研究科]
- 東邦音楽大学 [音楽学部音楽学科]
- 東邦音楽短期大学 [音楽科]
- 東邦音楽大学附属東邦高等学校(全日制の課程) [音楽科]
- 東邦音楽大学附属東邦第二高等学校(全日制の課程) [音楽科]
- 東邦音楽大学附属東邦中学校
- 東邦音楽学校

5 学生・生徒数（令和5年5月1日現在）

学校名	入学定員	入学者数	収容定員	現員数
東邦音楽大学大学院	15人	15人	30人	35人
東邦音楽大学	100人	67人	420人	282人
東邦音楽短期大学	20人	14人	70人	32人
附属東邦高等学校	60人	12人	180人	44人
附属東邦第二高等学校	40人	21人	120人	68人
附属東邦中学校	40人	13人	120人	34人
東邦音楽学校	一人	一人	一人	一人

6 収容定員充足率（令和5年5月1日現在）

学校名	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
東邦音楽大学	55.2%	57.6%	63.6%	67.6%	67.1%
東邦音楽短期大学	74.0%	58.0%	35.0%	27.0%	45.7%

7 役員の概要（令和5年5月1日現在）

(1) 定員数

理事：5人以上7人以内、監事：2人

(2) 役員の氏名

理事長：三室戸東光

理事：粕谷宏美、三室戸元光、太田恵雄、西修一郎、佐浦國雄

監事：上田 孝、和田正夫

8 評議員の概要（令和5年5月1日現在）

定員数：11人以上23人以内、現員数：14人

9 教職員の概要（令和5年5月1日現在） ※（ ）うち特任教員数

学校名	教授	准教授	専任講師	講師	計
東邦音楽大学大学院	7 (7)	2 (2)	0	6	15
東邦音楽大学	16 (13)	14 (7)	5 (2)	88	123
東邦音楽短期大学	3	1	3 (2)	4	11
計	26	17	8	98	149

学校名	校長	教頭	教諭	講師	計
東邦中学校	1	1	4	5	9
東邦高等学校		0	4	10	16
東邦音楽学校		0	0	12	12
東邦第二高等学校	1	1	5	11	18
計	2	2	13	38	55

※校長、教頭は高校の教員にカウント

キャンパス	事務職員
文京キャンパス	27
川越キャンパス	19

## II 事業の概要

令和5年度は、第四期中期計画（2021（令和3）～2025（令和7）年）が掲げる5年計画の3年目であった。令和3年度から開始した第4期中期計画においては、本学園を取り巻く厳しい環境の下、学生生徒の確保と安定した財務基盤の構築に向けて教育研究活動に真摯に取り組んできた。

しかしながら、令和4年12月に文部科学省学校法人運営調査委員による訪問調査を受審し指導・助言を受けたことを契機に、改めて本学園の経営状況を調査・分析したところ、このままでは学園の将来が見通せないという危機感をもって、新たに三室戸学園経営改善計画の策定に取り組んだ。今回の経営改善計画では構造改革を含む抜本的な改革が求められていることから、年度内に成案を得ることはできなかったが、令和6年度の早い段階で計画策定を終了し、早急に実施に取り組むことが望まれる。

その一方で、教育研究活動面では、ほぼコロナ禍前の環境に戻り令和5年度の事業計画に則って各事業を実施することができた。

## III 項目別取組状況

令和5年度に実施した取組の主な内容は、以下に示すとおりである。

### 1 教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための取組

#### (1) 大学及び短期大学等の教育に関する目標を達成するための取組

##### ① 学生募集活動

- ・ 学生獲得増に向けたアクションプランに基づき、行動計画（イベント年間スケジュール）を策定し募集活動を行った。
- ・ 大学、短期大学オープンキャンパスを各4回実施し、本学の紹介、レッスンの体験の場を設けた。（6月、7月、8月、3月）
- ・ パフォーマンス総合芸術文化専攻（P.A.C.S）プロモーションを5回実施し、教育の内容及び専攻の魅力についてのプレゼンテーション、進学相談を実施した。（6月、7月、9月、12月、3月）
- ・ 音楽療法入門講座を8回実施し、音楽療法専攻の内容及びその魅力について説明し、進学相談を実施した。（5月、6月、7月、9月、10月、11月、12月、2月）
- ・ 総合型選抜の対策として基礎力診断を5回実施した。（6月、7月、8月、9月、10月）
- ・ 受験生支援としてスキルアップ講習会を6回実施し、楽典、聴音、実技レッスン、小論文の指導を行った。（6月、7月、8月、9月、10月、12月）
- ・ 学生募集を目的とした高等学校訪問により、吹奏楽指導58校、ガイダンス・模擬授業45校、学校挨拶（学校紹介等のみ）20校を、それぞれ実施した。

##### ② 教育内容・教育成果等の充実

- ・ 大学教育の質向上に向けて、教員のティーチングポートフォリオを導入し、また、学生自身の学びを振り返るため、レーダーチャートによる学修成果可視化への取り組みに着手した。
- ・ インターンシップ成果発表を東邦スタンダード授業で実施し、学修成果の共有を図った。令和5年度の成果発表日、参加者は以下のとおり。

令和5年11月1日 於：グランツザール インターンシップ参加者数：6名

令和5年10月11日 於：グランツザール インターンシップ参加者数：1名

- ・ 本学のインターンシップ活動について、その独創的なプログラム展開や多様な機会創出の観点による学生からの高評価が認められ、「第6回学生が選ぶキャリアデザインプログラムアワード入賞」を授与された。

### ③ 教育の実施体制等の充実・強化

- ・ データサイエンスが急速に進展している昨今の社会環境下で、教育現場でも問題となっている、生成AI、Chat GPTをテーマとするFD研修会を実施した。

【講師】杉谷 宣紀氏（城西大学数理・データサイエンスセンター助教）

【テーマ】「音楽大学とデータサイエンス教育について」

### ④ 学生への支援の充実

- ・ 入学者全員に対して楽典の課題を与えて、提出を義務付けるなど、学び方の基本を身に付けさせることとし入学前教育の充実をはかった。
- ・ 令和5年度奨学金は「東邦令和特別奨学金」として、大学生3名、大学院生1名に各24万円を給付し、「東邦音楽大学奨学金」として3名に各40万円を給付した。
- ・ キャリア支援等教職員の支援により、令和6年3月卒業の大学生56名のうち就職希望者34名全員が就職した（就職率100%）。また、短期大学においても卒業生11名のうち就職希望者4名全員が就職した（就職率100%）。

### ⑤ 国際化の推進

- ・ 新型コロナウイルスの感染症の位置づけが、令和5年5月8日から「5類感染症」になったことを受け、「東邦ウィーンアカデミー」については、大学3・4年生の2学年分の研修を9月22日よりスタートした。年度末までに計11回、延べ131名の学生が参加し、無事終了することができた。
- ・ 演奏演習（演奏旅行）については、東邦ウィーンアカデミーとのスケジュールの兼ね合いによりハンガリーへの渡航ができないことから、昨年と同様リゾナーレハケ岳において国内での演奏収録旅行とし、10月24日～26日に実施した。収録VTRをハンガリー現地に配信し好評を博した。

## (2) 附属学校等に関する目標を達成するための取組

### ① 生徒及び受講生の確保

- ・ 学生獲得増に向けたアクションプランに基づいて、「令和5年度生徒獲得増に向けた行動計画」を策定し、募集活動を行った。
- ・ 卒業生情報センターによる音楽教室等を主宰する卒業生訪問を行い、入学者の確保に努めた。その結果、令和5年度に各附属学校に計12名が入学した。

### ② 附属学校における教育の充実

- ・ 東邦中学校と東邦高等学校の合同編成や第二高等学校全学年の合同編成によりウインドオーケストラを実施するなど、実践的な授業を行った。
- ・ 少人数制によるOne to Oneのきめ細かい教育の実践に努めた。また、大学、短期大学の教授陣による個人レッスンを実施した。

- ・ 11月3日にフランス・パリのマドレーヌ寺院において「世界遺産トーチランコンサート in パリ」を開催し、卒業生を含む附属中・高生計28名が出演した。

③ 高大接続と相互連携の強化

- ・ 本学の2つの附属高等学校の生徒を対象に「体験授業」を実施した。
- ・ 附属高校と大学及び短期大学が相互の連携強化ができるよう、責任者会議を各校と3回開催した。
- ・ 大学及び短期大学の教員が附属高等学校生徒を対象にしたスペシャルオープンキャンパスにおいて、本学の教育体制等について説明を行った。

(3) 研究に関する目標を達成するための取組

① 研究の推進と研究水準の高度化

- ・ 令和4年度の科学研究費「若手研究」で、「ドイツ語のリズム規定における『弱化』の知覚と生成」(准教授)が採択され、令和6年度は最終年度を迎えている。なお、採択者は学会発表及び論文執筆を継続的に行うとともに、上智大学の共同研究員として本研究の高度化に取り組んでいる。
- ・ 令和5年度は、新たに2名の教員が科学研究費に申請した。
- ・ 大学院学生及び学部生に対する研究指導を充実させるとともに、研究倫理教育を実施した。

② 研究推進体制等の充実

- ・ 研究推進・倫理委員会を定期的で開催(4回)し、研究推進方策等について、関係部門との連携などの検討を進めた。

③ 研究成果の積極的な公表

- ・ 教員の研究成果をまとめ、公表するため、研究紀要第30号を発行し、第31号の発行に向けて準備中である。
- ・ 学園ウェブサイトの「教育研究者一覧」について、掲載内容の充実に努めた。

(4) 社会連携及び社会貢献に関する目標を達成するための取組

① 社会連携事業の推進

- ・ 川越市との協定に基づき、9月9日に市主催「2音大クラシック・コンサート」において、尚美学園大学と東邦音楽大学との競演を行い、また、11月25日に大学間連携講座「オーケストラの魅力」を開催した。
- ・ 2004(平成16)年から実施している文京アカデミー大学連携講座は、コロナ禍の影響が残ったものの、令和5年度はウクレレ、声楽、音楽史、フルートの4講座について実施することができた。
- ・ ふじみ野市との協定に基づき、6月14日にふじみ野市小学校音楽鑑賞教室(ウインドオーケストラ)を開催した。
- ・ 埼玉東上地域大学教育プラットフォーム(TJUP)連携協定に基づき、TJUP公開講座「音楽大学の授業(ベートーヴェン編)×はじめてのフルート体験」を実施した。

【参考】自治体等との協定締結一覧

協定締結先	締結年月
埼玉県川越市	平成 19 年 11 月
東京都文京区	平成 20 年 3 月
新国立劇場運営財団	平成 27 年 6 月
東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会	平成 27 年 12 月
埼玉県ふじみ野市	平成 28 年 5 月
埼玉東上地域大学教育プラットフォーム (TJUP) 発足	平成 30 年 9 月
埼玉県和光市・和光市文化振興公社	平成 31 年 4 月

② 社会貢献活動の推進

- ・ 6 月 16 日に東京都青梅市小学校音楽鑑賞教室（オーケストラ）を実施した。
- ・ 12 月 10 日に川越市南古谷地域会議主催「0 歳児からのコンサート in 南古谷」を実施した。
- ・ 2 月 25 日に埼玉県日高市ファミリーコンサート「親子のためのワンダー・キッズ・コンサート」イン日高（学生有志）を実施した。
- ・ 10 月に沖縄県恩納村立仲泊小学校からの熱心な要請に基づき、短期大学の学生国内演奏旅行を実施した。現地の小学生達から歓迎されるとともに、楽しんでいただける演奏会を開催することができた。
- ・ 附属中学校・高等学校は、ユネスコパートナーシップ世界遺産トーチランコンサート協会と共催で、東京都豊島区「南大塚ホール」（4 月 8 日）並びに北区北とびあ「つつじホール」（9 月 27 日）において、クラシックコンサートを開催した。また、9 月 16 日に濱野画伯展覧会記念コンサート（丸紅ホール）に附属中・高生 20 名が参加した。

2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための取組

(1) 組織運営の改善に関する目標を達成するための取組

① 組織運営機能の強化

- ・ 大学(短期大学、附属学校等を含む)の円滑な運営を図ることを目的とする「責任者会議」を 7 月 20 日と 12 月 21 日に開催し、理事長・学長の講話の後、各部門の情報共有と連携強化促進に努めた。
- ・ 9 月 7 日に FD/SD 合同研修会を開催し、杉谷宣紀城西大学助教を講師として、データサイエンスに関する講演を行っていただき、教育現場でも問題となっている「生成 AI、Chat GPT」について教職員の理解を深めた。
- ・ 事務職員の業務に必要な知識及び技能の習得とその能力及び資質向上を目的として、7 月 20 に責任者を対象に、9 月 7 日には中堅・若手事務職員を対象にして SD 研修会を実施した。本学園カウンセラー田端真生子講師から、それぞれ「本学学生生徒のカウンセリングの現状」、「支援者側のメンタルヘルス」をテーマに取り上げ、職員一人一人の資質能力、意識の向上を図った。



## ② 教育研究組織の充実・強化

- ・ ICT に関する知識の習得を目的として、外部団体が主催する ICT 研修会に事務職員を受講させ職員の資質向上を図った。
- ・ 大学・短大の後援会組織の総会に管理職の教職員が出席したほか、同窓会組織の邦友会が企画する事業に卒業生情報センター職員が出席し円滑な協力関係の維持強化を図った。

## ③ 事務等の効率化・合理化の推進

- ・ 業務と組織の効率化を図るため、事務職員の積極的な採用に務めて組織の活性化を図った。また、留学生センターに外国人教職員を採用し日本語の授業を担当するほか、外国人留学生の学修支援として配置し、サポート体制の強化を図った。
- ・ 事務組織の円滑な業務の遂行を図るため、附属校及び大学組織の管理職を中心として組織する責任者会議を 7 月と 12 月に開催し、業務報告のほか各部門に関する課題等の解決に向け協議し連携を図った。
- ・ 事務職員の人事ヒアリングを実施し、適正な人事配置に務めた。

## (2) 財務内容の改善に関する目標を達成するための取組

### ① 収入の確保

- ・ 学園の過去 10 年間の財務状況を分析し、収入・支出の傾向と課題を洗い出し、今後の財務計画の参考にするための資料を作成した。
- ・ 部門別の学生生徒等納付金データを参考に、学生募集活動の基礎資料として活用した。

### ② 経費の抑制

- ・ 近年の決算分析等を基に、関係部署において、真に必要とする経費執行の精査を行い経費節減に努めた。
- ・ 前年度実績を基に、経費執行の精査を行い、管理的経費の節減に努めた。

### ③ 資産の運用管理の改善

- ・ 複数の金融機関による引き合いの実施など、資金運用計画を作成し、効率的かつ効果的に資金運用を行った。
- ・ 本学園の資産を洗い出し、所有する土地の市場価値について市場調査を行い、将来の資金需要に資するための資料を作成した。

## (3) 施設設備整備、安全管理及び法令順守等に関する目標を達成するための取組

### ① 施設設備の整備・活用等

- ・ 修学環境整備として、文京キャンパスのパフォーマンス総合芸術文化専攻教室への大型モニター設置、川越キャンパス 9 号館全館 LED 化等を行った。
- ・ 学内環境の利便性向上と衛生環境を確保するため、9 号館、12 号館、13 号館のトイレをウォシュレット機能付トイレに改修工事を行った。その他、経年劣化の修繕としてグランツザール及び 16 号館の GHP 空調設備の修繕工事を行い教育環境の維持に努めた。

- ・ ICT 環境整備の一環として進める「無線 LAN 整備計画（令和 3～5 年度）」に基づき、文京キャンパス 2 号館・7 号館の無線 LAN 設備整備工事を終え、文京・川越両キャンパスの全館整備計画が完了した。これにより学生生徒・教職員が教育研究、学習に自由にアクセスが可能な安定したネットワークを提供し、デジタル教材など幅広いシーンで有効的に活用されるものとなった。
- ・ 文京キャンパス 7 号館の教室・レッスン室の照明設備を節電効果の高い LED 照明に順次交換を進め令和 5 年度末時点で 8 割程度完了した。引き続き LED 化計画を進め令和 6 年度中に 7 号館全館の完了を目指すこととし、安全で明るい快適な教育環境の向上に努めていく。

## ② 安全管理の充実・強化

- ・ 消防計画に基づき附属学校生及び大学生、教職員の合同による防災避難訓練を実施したほか、教職員組織で構成する防火防災対策委員会を開催、大規模災害が発生したことを想定した動画の視聴や昨今多発する自然災害への備え等、防災に対する重要性を理解するとともに危機意識を高めた。また、SDGs の取組の一つとして賞味期限前の非常食を学生に配布、非常食の体験とともに廃棄の減量削減に努めた。
- ・ 川越キャンパスの屋外防犯カメラ 4 台を高性能ハイビジョン広角防犯カメラと HDD レコーダに更新したほか、設置場所を見直し、より広範囲に監視が可能な場所に置き換え防犯セキュリティに対する強化を図った。
- ・ 災害時における対策として、学生及び教職員の安心・安全を確保するためポータブル発電機、浄水器を整備したほか、安否確認・緊急時連絡網として導入している「さくら連絡網通信アプリ」を平常時から活用し、緊急時でも速やかに連絡が取れるよう、災害時に対する意識の向上を図った。

## ③ 法令順守の徹底等

- ・ コンプライアンスに対する取り組みとして、研究防止に関する相談窓口、公益通報相談窓口、ハラスメントに対する対策、育児・介護休業制度の対応などコンプライアンスに関する情報を本学 Web サイトに掲載し広く周知した。
- ・ 教員オリエンテーションにおいて、令和 5 年度に策定した「障がい者に関する基本方針」に基づき、多様な学生に対する教育支援に関する基本的な考えや配慮の在り方など、教員への共通理解と意識の向上を図った。
- ・ 2023 年 4 月 1 日に改正労働基準法が施行されたことに伴い、非常勤講師就業規程を新たに制定した。併せて本学園の非常勤講師雇用契約書を見直し、明示が求められている必要な事項を記載した。

## (4) 自己点検・自己評価及び情報公開等に関する目標を達成するための取組

### ① 自己点検・自己評価の充実

- ・ 令和 5 年 11 月、令和 4 年度事業を対象とした「東邦音楽大学・東邦音楽短期大学自己点検評価報告書」を作成・公表した。
- ・ 令和 5 年 6 月に東邦音楽短期大学自己点検評価書を取りまとめ、それらを基に、一般財団法人大学・短期大学基準協会による短期大学認証評価を受審した。

その結果、「本協会が定める短期大学評価基準を満たしていることから、令和6年3月8日付で適格と認める」との評価報告を受けた。

- ・ その評価結果の中で、本学短大の取組において「優れている点」及び「向上・充実のための課題」として言及された事項は、次表のとおりである。

**【優れている点】**

- 自己点検・評価報告書に対して、有識者による外部評価を取り入れ、第三者による客観的な点検・評価が行われている。
- 本協会による内部質保証ルーブリックにおいて一定のレベルを満たし、全教職員が内部質保証に取り組んでいる。
- 選択科目「ウィーンアカデミー」では、オーストリア共和国ウィーン市に研修施設を置き、世界のトップクラスの教員から学ぶ機会を設けている。
- 教養課程において「東邦スタンダード」という独自の科目があり、全学生が2年間を通じて社会人としての教養を学ぶ機会となっている。
- 音楽を中心とした企業におけるインターンシップに単位付与を行い、実際に社会に出て働く経験を授業内で発表するなど、就職支援に向けた取組を積極的に行っている。
- 「文京図書館ラーニングコモンズ」において、音楽専門の学生に対応した計画的な購入や運用を行っており専門的なニーズにきめ細かく対応している。

**【向上・充実のための課題】**

- シラバスの一部に、1 回ごとの講義内容ではなく数か月まとめた講義内容となっている科目、15 週目に試験を設定している科目、また、出席による加点・減点を含めている科目など、シラバスの記載に不備が散見されるため、「シラバス作成のためのガイドライン」に従って記載内容の確認を組織的に行い、改善が望まれる。
- 卒業及び免許・資格の取得を目的とする学生が修得すべき単位数については、必要な学修時間を確保し単位の実質化を図るために、年間又は学期において履修できる単位数の上限について、学則又は学則上に根拠規定を置いた規程に定める必要がある。
- 財務状況について、余裕資金はあるものの、学校法人全体及び短期大学部門で過去 3 年間の経常収支が支出超過となっている。今後、「東邦音楽短期大学経営改善計画」に沿って財務体質の改善に努めることが望まれる。
- 短期大学全体の収容定員の充足率が低いので、充足率をあげるよう努力されたい。

② 情報公開及び情報発信の推進等

- ・ 本学園に関する学校基本データ等の教育情報及び財務情報について、新たに公表項目を増やして学園 Web サイトに掲載し、広く周知した（6 月）。

コンクール等の受賞者①

【令和5年度：大学院・大学・短期大学】

コンクール等の名称	部 門	賞の名称	受賞者氏名	学 校	専攻・学年	備考
第1回 プリマヴェーラ 声楽コンクール	Amatori DIAMANTE	第一位 Premio per l' antiaging	馬場 のり子	短大	声楽専攻	R2年度卒業
第1回 ソレイユ日本歌曲 コンクール	プロフェッショナル 部門	第三位	泉関 洋子	大学	声楽専攻	H12年度卒業
2022年度 第14回 イタリア コンソルト MusicArte	Stella 部門 学生の部	Gran Premio大賞 (最高賞)	小川 尚也	大学	Konzertfach (演奏専攻)2年	
第5回 日本奏楽コンクール	管楽器 部門 一般Aの部	奨励賞	梅本 直明	大学院	管弦打領域2年	
第2回 東京国際青少年 ピアノコンクール	A3部門	第三位	鶴岡 智優	大学院	ピアノ 領域2年	
第46回全日本ジュニア クラシック 音楽コンクール	大学2年生の部	第四位	植松 姫菜	大学	Konzertfach (演奏専攻)2年	
第33回日本クラシック 音楽コンクール	本選	優秀賞	鈴木 勇	大学	声楽専攻3年	
第2回東京国際管弦声楽 コンクール	大学生の部	第2位 (第1位該当者なし)	内山 紀佳	大学	管弦打楽器専攻2 年	
第87回 東京国際芸術協会 新人演奏会オーディション		合格	梅本 直明	大学院	管弦打領域2年	ファゴット 二重奏
			中原 優里	大学院	管弦打領域1年	
第5回 日本奏楽コンクール	管楽器部門 一般Aの部	第1位 現代音楽賞	高澤 沙季	大学／大学院	管弦打楽器専攻 ／管弦打領域	H30年度卒業/ R2年度修了
K国際コンクール 第1回秋のKサクソフォン コンクール	大学／一般の部	第1位	高澤 沙季	大学／大学院	管弦打楽器専攻 ／管弦打領域	H30年度卒業/ R2年度修了
第26回「長江杯」国際音楽 コンクール	管楽器部門 一般の部A	第2位	高澤 沙季	大学／大学院	管弦打楽器専攻 ／管弦打領域	H30年度卒業/ R2年度修了
第33回日本クラシック音楽 コンクール	サクソフォン部門 一般の部	第3位 (第1位・第2位 該当者なし)	高澤 沙季	大学／大学院	管弦打楽器専攻 ／管弦打領域	H30年度卒業/ R2年度修了
第11回 下田国際 音楽コンクール	一般部門	奨励賞	高澤 沙季	大学／大学院	管弦打楽器専攻 ／管弦打領域	H30年度卒業/ R2年度修了
第14回 香港国際ピアノ コンクール		第2位	鶴岡 智優	大学院	ピアノ 領域2年	
第33回 日本クラシック 音楽コンクール全国大会	声楽部門 大学女子の部	第3位	何 如錦	大学院	声楽領域2年	
第2回 プリマヴェーラ 声楽コンクール	埼玉大会准本選	入選／優秀賞	曾 静好	大学	声楽専攻4年	

コンクール等の受賞者②

【令和5年度：附属中学校・高等学校・第二高等学校】

コンクール等の名称	部 門	賞の名称	受賞者氏名	学 校	専攻・学年	備考
第2回 東京国際青少年 ピアノコンクール本選	B5	第1位	依田 音芭	中学校	1年	
第45回 全日本ジュニア クラシック音楽コンクール	ピアノ部門 中学1年生の部	第4位	川上 侑輝	中学校	1年	
第17回 草加市演奏家協会 クラシック音楽 ジュニアコンクール	D部門	第1位 草加市教育長賞	川上 侑輝	中学校	1年	
第45回 全日本ジュニア クラシック音楽コンクール	ピアノ部門 中学1年生の部	審査員賞	古峰 蓮夏	中学校	1年	
第1回 音の杜学生ピアノ コンクール	D級	審査員賞	古峰 蓮夏	中学校	1年	
第25回日本演奏家コンクール	ピアノ部門 中学生の部	奨励賞	柏本 桃花	中学校	2年	
第45回 全日本ジュニア クラシック音楽コンクール	ピアノ部門 中学2年生の部	審査員賞	柏本 桃花	中学校	2年	
第45回 全日本ジュニア クラシック音楽コンクール	声楽部門 高校生の部	奨励賞	山本 紫月	高等学校	1年	
中学生・高校生のための 第20回 日本管弦打楽器 ソロ・コンテスト	高校生部門	金賞 埼玉県教育長賞	河野 尊	高等学校	2年	
第28回 日本トロンボーン コンペティション	独奏部門	奨励賞	今 奏音	第二高等学校	3年	
第87回 東京国際芸術協会 新人演奏会	独奏部門	出演	今 奏音	第二高等学校	3年	
第2回 東京国際管弦声楽 コンクール	声楽部門 (ソプラノ)	5位	森田 月渚	第二高等学校	2年	
第3回 国際声楽コンクール 東京	ミュージカル 高校生部門	奨励賞	森田 月渚	第二高等学校	2年	
第25回 日本演奏家コンクール	声楽部門 (テノール)	2位	山川 信也	第二高等学校	2年	
中学生・高校生のための 第20回 日本管弦打楽器 ソロ・コンテスト	金管楽器の部 (ユーフォニアム)	金賞 埼玉県知事賞	本間 瞳	第二高等学校	2年	
第1回 にじいろピアノ コンクール関東ファイナル	ピアノ部門 E級	銀賞	宮内 小羽	第二高等学校	1年	

令和5年度 主な演奏会等実施一覧

2023年	演奏会・イベント名	内容	会場
6月14日 水	ふじみ野市音楽鑑賞教室	ウインドオーケストラ	東邦音楽大学 グランツザール
6月15日 木	南古谷小学校音楽鑑賞教室	ウインドオーケストラ	東邦音楽大学 グランツザール
6月16日 金	青梅市小学校音楽鑑賞教室	オーケストラ	福生市民会館 さくらホール
7月11日 火	さぎの森小学校音楽鑑賞教室	金管5重奏	さぎの森小学校 体育館
7月15日 土	第225回定期研究発表演奏会〔ソロの部〕	ソロ	東邦音楽大学 グランツザール
7月26日 水	シビックコンサート	声楽	文京シビックセンター 区民ひろば
8月4日 金	七夕コンサート	サクスカルテット	ふじみ野交流センター
8月27日 日	TOHOサマーコンサート2023	オーケストラ	東邦音楽大学 グランツザール
9月9日 土	2音大クラシック・コンサート	オーケストラ	ウエスタ川越 大ホール
9月16日 土	文の京 カレッジコンサート	声楽	文京シビックホール 小ホール
10月7日 土	東邦ミュージックフェスティバル2023		東邦音楽大学
10月8日 日	東邦ミュージックフェスティバル2023		東邦音楽大学
11月16日 木	小さな子どものためのコンサート	打楽器アンサンブル	キラリふじみ
11月18日 土	第226回定期研究発表演奏会〔合唱の部〕	合唱	東邦音楽大学 グランツザール
11月19日 日	愛和病院チャリティフェスタ	サクスカルテット	愛和病院(野外)
11月23日 木	第227回定期研究発表演奏会〔ウインドオーケストラの部〕	ウインドオーケストラ	文京シビックホール 大ホール
11月25日 土	川越市大学間連携講座	オーケストラの魅力	東邦音楽大学 スタジオB
12月2日 土	東邦音楽大学大学院 1年生演奏会	ソロ	東邦音楽大学 グランツザール
12月3日 日	東邦音楽大学大学院 1年生演奏会	ソロ	東邦音楽大学 グランツザール
12月9日 土	第228回定期研究発表演奏会〔オーケストラの部〕	オーケストラ	ウエスタ川越 大ホール
12月10日 日	0歳からのコンサート in 南古谷	声楽・ピアノ・チェロ	川越市東部地域ふれあいセンター
12月17日 日	第14回 音楽大学オーケストラ・フェスティバル2023	オーケストラ	東京芸術劇場 コンサートホール
12月20日 水	シビックコンサート	ハンドベル	文京シビックセンター 区民ひろば
12月24日 日	ユニクス南古谷クリスマスコンサート	ハンドベル	ユニクス南古谷(野外)
2024年	演奏会・イベント名	内容	会場
1月8日 月	ニューイヤーコンサート in 南古谷		東邦音楽大学 グランツザール
1月14日 日	第一生命川越支社 ニューイヤーコンサート	声楽	ウエスタ川越 大ホール
1月20日 土	TOHOコンサート2024 陸上自衛隊東部方面音楽隊 & 東邦音楽大学ウインドオーケストラ	ウインドオーケストラ	東邦音楽大学 グランツザール
1月21日 日	中学生・高校生のための第20回日本管弦打楽器ソロ・コンテスト 受賞記念演奏会 ~文部科学大臣賞選考会~	ソロ	東邦音楽大学 グランツザール
2月10日 土	東邦音楽大学大学院 修士課程学位審査修了演奏会	ソロ	東邦音楽大学 グランツザール
2月11日 日	東邦音楽大学大学院 修士課程学位審査修了演奏会	ソロ	東邦音楽大学 グランツザール
2月25日 日	日高市ファミリーコンサート	ウインドオーケストラ	ひだかアリーナ
2月28日 水	シビックコンサート	フルートアンサンブル	文京シビックセンター 区民ひろば
3月9日 土	東邦音楽大学・東邦音楽短期大学 卒業代表演奏会	ソロ	東邦音楽大学 グランツザール
3月23日 土	TJUPランド 子どもフェスタ ファミリーコンサート	打楽器アンサンブル	女子栄養大学
3月30日 土	第13回 音楽大学フェスティバルオーケストラ2024	オーケストラ	東京芸術劇場 コン서트ホール
3月31日 日	第13回 音楽大学フェスティバルオーケストラ2024	オーケストラ	ミュウザ川崎シンフォニーホール

フォトギャラリー

6月10日	土	第12回 北関東甲信越音楽系高等学校演奏会
-------	---	-----------------------



7月15日	日	第225回 定期研究発表演奏会[ソロの部]
-------	---	-----------------------



9月9日	土	2音大クラシックコンサート[ウェスタ川越 大ホール]
------	---	----------------------------





9月27日	水	東邦音楽大学附属東邦中学校・東邦高等学校クラシックコンサート [北とぴあ つつじホール]
-------	---	---



10月7日	土	東邦ミュージック・フェスティバル2023~祝・学園創立85周年記念~
10月8日	日	



10月25日	水	ハンガリー配信のための公開演奏収録[星野リゾートリゾナーレ八ヶ岳]
--------	---	-----------------------------------





10月26日	木	東邦音楽短期大学 卒業記念修学演奏旅行[沖縄県恩納村立仲泊小学校]
--------	---	-----------------------------------



11月18日	土	第226回 定期研究発表演奏会[合唱の部]
--------	---	-----------------------



11月23日	木・祝	第227回 定期研究発表演奏会[ウインドオーケストラの部] [文京シビックホール 大ホール]
--------	-----	---



12月2日	土	東邦音楽大学大学院 1年生演奏会
12月3日	日	



12月9日	土	第228回 定期研究発表演奏会[オーケストラの部] [ウェスタ川越 大ホール]
-------	---	--



12月17日	日	第14回 音楽大学オーケストラ・フェスティバル [東京芸術劇場コンサートホール]
--------	---	---



1月20日	土	TOHOコンサート2024 (陸上自衛隊東部方面音楽隊 & 東邦音楽大学ウインドオーケストラ)
-------	---	--



2月10日	土	東邦音楽大学大学院 修士課程学位審査修了演奏会
2月11日	日	



2月23日	金・祝	パフォーマンス総合芸術文化専攻卒業制作発表
-------	-----	-----------------------



3月9日

土

東邦音楽大学・東邦音楽短期大学 卒業代表演奏会

